

令和8年度 第1回 四日市市上下水道事業運営委員会

➤ 開催日時 令和8年7月30日(木) 14:00~16:00

➤ 開催場所 四日市市上下水道局 地下1階会議室

➤ 出席者

【委員】

学識経験者	鶴田 利恵
	石山 純
	朝日 幸代
	齊藤 由里恵
市民代表	山本 信子
	水谷 慎志
	羽場 誓司
	藤田 倫子

【事務局】

上下水道事業管理者、管理部長、技術部長、技術次長、政策推進監、経営企画課長、お客様センター所長、施設課長、水道建設課長、水道維持課長、下水建設課長、経営企画課副参事、経営企画課企画計画係長、経営企画課水道財政係長、経営企画課下水財政係長、経営企画課企画計画係員3名、経営企画課水道財政係3名

➤ 傍聴者 0名

➤ 議事要旨

・諮問

水道料金のあり方について、本委員会に諮問を行う。

・議題

事務局より、諮問事項「1 水道料金のあり方について」及び報告事項「1 下水道管路における全国特別重点調査の結果と今後の対応について」の説明を行う。

<質疑・応答>

「1 水道料金のあり方について」

【委員】

令和 10 年度から令和14年度の 5 年間の料金算定期間内に内部留保資金が 80 億円不足するということだが、80 億円の根拠を教えてください。

【事務局】

国から鑄鉄管撤去の要請があり、10 年間で事業費が 86 億円でうち市費が 72 億円必要になります。単純に計算すると 5 年間で事業費 36 億円ですが、緊急輸送道路下の鑄鉄管を最初に撤去する必要がある、前半 5 年間で事業費が多く必要になります。この鑄鉄管撤去の事業費が不足額 80 億円の大半を占めています。

【委員】

値上げ幅はどの程度になるか試算はしているでしょうか。

【事務局】

複数案の改定率を次回お示ししたいと考えています。現在、アセットマネジメントの考え方で施設更新の見直しを行い事業費の抑制を図る取組みを進めています。市民負担を考えられる限り改定率を軽減したいと考えています。なお、今現在で単純に改定率をお示しすると5年間の不足額が80億円のため、1年あたり16億円程度の増収が必要です。本市の料金収入は約 60 億円程度のため、25%程度は上昇する水準となります。

【委員】

今後の収支見通しについて、物価等の上昇率をどのように見込んでいるでしょうか。

【事務局】

ここ数年で人件費及び物価がかなり上昇しています。今後も同水準の上昇が続くと見込んで収支見通しを作成しています。

【委員】

漏水事故が増えているとあるが、今後も上昇傾向にあるのでしょうか。

【事務局】

漏水事故と気温に相関関係がみられます。猛暑になると漏水事故件数が増える傾向にあり、今後も増えると考えています。

【委員】

漏水事故は水道管の管種に影響するのでしょうか。漏水事故の増大に対応するのに鑄鉄管とは別に他の管種の対策を進めていく必要があるのか、管種別の影響を教えてください。

【事務局】

次回事業運営委員会で資料の提示ができればと考えています。

【委員】

将来的に水道施設を維持していくためには、新たな発想のもとで料金を見直す必要があるのではないのでしょうか。経営破綻しないよう基本料金と従量料金とは別に、資産を維持していくための経費を料金体系に盛り込み、将来に向けた積立を検討してはどうでしょうか。

【事務局】

国の方で資産を維持するための資産維持費という考え方が示されています。資産維持費を含めた料金改定をするとすれば改定率にどのような影響が出るか今後検討していく必要があると考えています。

【委員】

四日市市の水道料金体系は、増度が高く企業等の大口水道利用者の負担が大きくなる仕組みとなっていると説明がありました。料金改定にあたって企業に意見を聞いているのでしょうか。

【事務局】

現段階では意見等を聞いていません。今後、大口水道利用者の企業について、ヒアリング等を実施したいと考えています。

【委員】

水道料金収入に占める一般家庭と企業の割合を教えてください。

【事務局】

給水収益については、約 72%が一般家庭、残り約 28%が企業等の大口利用者となります。また、有収水量については、約 85%が一般家庭、残り約 15%が企業等の大口利用者となります。

<委員からの意見>

・水道事業は固定費が多くを占めるため、基本料金から固定費を徴収することはよいと考えます。その場合、基本料金が高額になることが見込まれるため基本料金と従量料金のバランスは求めるべきです。基本料金の負担が大きくなり市民の生活環境を大きく変

えるような料金改定は避けるべきです。

・基本水量は廃止傾向にあります。基本水量はもともと手洗いの励行等感染症予防等の衛生環境向上のために導入された経緯があります。現在においては基本水量の本来の役割は果たしたと考えるため基本料金の中に含む必要はないのではないのでしょうか。ただし、基本水量を一度になくすか段階的になくすかは検討が必要と考えます。

・逡増度については、他市に比べ大きくなっています。かつては、大口利用者に節水を促すために導入された制度であり、水需要の変化から今の時代に即した見直しを行ってもよいと考えます。

・どこに住むかを決める際、水道料金は重要な判断材料となります。県内他市との比較について、もう少し細かい資料の提供をお願いします。

・四日市市に立地する企業から、水が綺麗であることを利点と捉えているとの声を聞いたことがあります。水が綺麗であることは世界に誇れることで、都市間競争の利点にもなりうります。四日市市の企業が立地し続けるためにも、希望を抱けるような展開を示せるとよいと考えます。

・電気やガスに比べて水道料金は安くなっています。電気料金は度々値上げされるなか、最高益を上げたとの報道を聞くと複雑な気持ちになります。水道料金の値上げがなぜ必要か、市民へわかりやすく情報提供するとよいを考えます。

・市民が値上げの理由を聞いてなるほどと思えるよう、基本料金の内訳を明確にするなどしっかり説明していくべきと考えます。施設の広域化により維持費を割安にできる可能性があるため、知識を出して検討してほしいです。

・水質によって水道料金が変わってくると思います。次回水質に関する資料を提示してほしいです。

以上